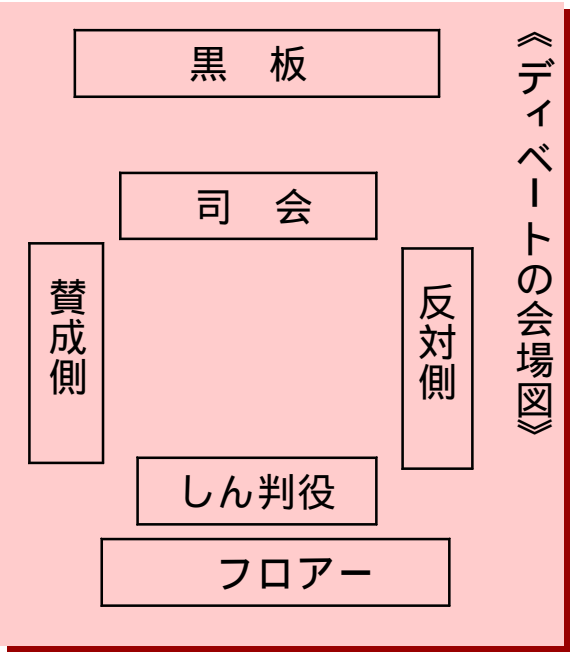


ディベートについて知ろう

ディベートとは

一つの論題^{ろんだい}について話し合う。
 「賛成側」「反対側」の
 2つの立場に分かれて行う。
 ルール^{やくわり}（役割・人数・進行・
 判定基準）にしたがって行う。
 話し合いは、筋道^{すじ}を立てて理由や
 根拠^{こんこ}を明らかにしながら進める。
 最後に判定する。

《ディベートの仕方の例》



《ディベートの進行表》

- 賛成側立論^{りつろん}
- 反対側立論^{りつろん}
- (作戦タイム)
- 反対側反論^{はんろん}
- 賛成側反論^{はんろん}
- (作戦タイム)
- 反対側結論^{けつろん}
- 賛成側結論^{けつろん}
- 判定

わたしたちの
ディベートの方法

わたしたちの
ディベートルール

ディベートの進行の形やルールは、
 いろいろあります。
 クラスに合ったルールや判定の基準など
 を考えてやってみましょう。

【役割分担】

- 司会者 …… (1) 名
- タイムキーパー …… (1) 名
- 「賛成側」 …… (6) 名
- 「反対側」 …… (6) 名
- しん判役 …… (3) 名
- フロア …… (7) 名

【進行表】

- 賛成側立論^{りつろん} (2分)
- 反対側立論^{りつろん} (2分)
- (作戦タイム) (1分)
- 賛成側質問 (2分)
- 反対側質問 (2分)
- 意見交流 (6分)
- (作戦タイム) (3分)
- 反対側結論^{けつろん} (1分)
- 賛成側結論^{けつろん} (1分)
- 判定 (3分)



ディベートの仕方を しっかり学ぼう
 相手をなっ得させられるような 技を身に付けよう

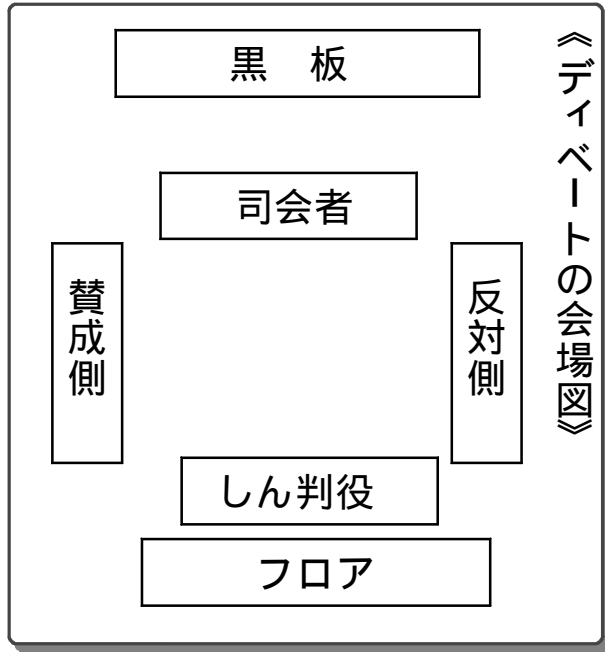
実践では、相手の意見をしっかりと聞き、相手の意見を取り入れながら意見交流をするというねらいから、「反論」でなく「質問」「意見交流」という言葉に変えた進行表を作成し使用した。

ディベートについて知ろう

ディベートとは

一つの論題について話し合う。
 「賛成側」「反対側」の
 2つの立場に分かれて行う。
 ルール（役割・人数・進行・
 判定基準）にしたがって行う。
 話し合いは、筋道を立てて理由や
 根拠を明らかにしながら進める。
 最後に判定する。

《ディベートの仕方の一例》



《ディベートの進行表》

- 賛成側立論 (りつろん)
- 反対側立論 (りつろん)
- (作戦タイム)
- 賛成側反論 (はんろん)
- 反対側反論 (はんろん)
- (作戦タイム)
- 賛成側結論 (けつろん)
- 反対側結論 (けつろん)
- 賛成側結論 (けつろん)
- 判定

わたしたちのディベートの方法

【役割分担】

司会者 () 名
 タイムキーパー () 名
 「賛成側」 () 名
 「反対側」 () 名
 しん判役 () 名
 フロア () 名

【進行表】

- 賛成側立論 (りつろん) () 分
- 反対側立論 (りつろん) () 分
- (作戦タイム) () 分
- 賛成側反論 (はんろん) () 分
- 反対側反論 (はんろん) () 分
- (作戦タイム) () 分
- 賛成側結論 (けつろん) () 分
- 反対側結論 (けつろん) () 分
- 判定 () 分



わたしたちの
ディベートルール

ディベートの進行の形やルールは、
いろいろあります。
クラスに合ったルールや判定の基準などを
考えてやってみましょう。

ディベートの仕方を しっかり学ぼう
相手をなっ得させられるような 技を身に付けよう

